

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

「かがわの海と食の祭典」

サンポ - ト高松において、10月1日(土)と2日(日)の2日間にわたり、県は香川県漁業協同組合連合会、(社)香川県水産振興協会及び(社)全国豊かな海づくり推進協会の協賛により、「かがわの海と食の祭典」を開催しました。

この祭典は消費者の方々に水産物や水産業への関心を高めてもらうとともに、水産資源や水域環境の保全等に関する正しい知識の啓発、県産水産物のおいしさをPRすることを目的に、昨年行われた「第24回全国豊かな海づくり大会」の1周年にあわせて開催したもので、のべ32,000人を超える来場者で賑わいました。

祭典のオ - プニングとして真鍋知事や服部会長をはじめ、(社)全国豊かな海づくり推進協会の渋川副会長らが高松聖母幼稚園の園児たちと一緒にタケノコメバルやキジハタなどの稚魚を放流しました。その後、「県民の海づくり」を推進するため、一般来場者にも放流体験をしてもらいました。



稚魚の放流

会場は、実際にかがわの海の生き物に触れることができる体験エリア・水産物や県産物を販売する物販エリア・地元で獲れた魚や米などの食材本来のおいしさを知っていただくことを目的にした特別イベントエリアの3つのエリアで開催しました。

特に、特別イベントエリアは、「参加者が自ら食材を選び、自分でさばいて、食する」という、新しい屋外型の料理体験スタイルでしたが、参加した子供

たちは、「初めて魚をさばいたが、またやってみよう。」「さっそく今日の夕食で魚をさばこうと思う。」などと笑顔で話してくれ、食に対する関心・魚への関心を持つきっかけになったとの声が多く聞かれました。

最後に、祭典に御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

香川県農政水産部水産課 漁業振興グループ 加賀田



子供たちに大好評の体験エリア

栽培漁業基本計画が策定されました

これまで、本県における沿岸漁業の健全な発展と水産物の安定的供給の確保を図るため、「つくり育てる漁業」の実現に向けた取り組みを進めることとし、その中心的な施策としての栽培漁業を推進してきました。

しかしながら、昭和50年代後半以降、社会経済の発展を背景に漁船や漁具の大型化、省力化などによる過剰な漁獲努力や沿岸域の都市化、工業化に伴う漁場環境の悪化等により、水産資源の減少が進んでいます。

このため、つくり育てる漁業の中核的施策として、有用な水産動物の種苗を生産・放流し、その育成に努めながら合理的に漁獲する「栽培漁業」の計画的かつ効率的な推進がより一層重要になっています。

また、地球環境や生態系の保全に対する関心が高まる中、身近な沿岸海域の自然環境や生態系の適切な保存が強く求められており、漁業生産活動に伴う資源の適切な利用に際しては、対象となる資源の的確な評価とそれに基づく放流量の決定などに今後ま

すまず配慮していく必要があります。

このような状況の下、関係者の創意工夫と努力を積み重ねて栽培漁業に係る技術の開発を促進するとともに、資源管理型漁業との一層の連携のもと、漁業者を中心とした関係者の積極的な取り組みを進め、本県沿岸漁業における漁業生産や漁業経営の安定を図りながら、優良な水産物を安定的に供給するため、栽培漁業の推進に係る計画を策定し、平成17年6月24日に公表しました。

(県のホームページに次のとおり公表しておりますので、参考にしてください。)

香川県ホームページ 県政基本情報 主な個別計画 一覧の絞込み(農林水産)

水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画を策定しました。

- 第5次栽培漁業基本計画
- 香川県の栽培漁業の現状と今後(レポート)本文
- 香川県の栽培漁業の現状と今後(レポート)参考資料

【概要】

放流目標に県内で実際に放流されている魚種、新たに生産できるようになった魚種を追加しました。

あいなめ、きゅうせん(べるこ)、さわら、めばる、かさご、まだこ、あわび、たけのこめばる

放流目標から放流要望の減退したくろだいと、放流しても効果が期待できないことが調査結果からはっきりしたまごがれいをはずしました。

新基本計画に取り入れた新たな考え方

・栽培漁業の多面的な役割

栽培漁業は、水産資源の回復・維持によって、漁業者の労働意欲や活力の増大にも寄与するとともに、水産物の安定供給に資するだけでなく、県民の遊漁機会の増加による都市漁村の共生・交流の促進、資源の積極的な回復措置による生態系の保全等の効果もあることから、栽培漁業の持つ公益性を県民に広く普及し、深い理解を得るよう努めることとします。

・栽培漁業の役割分担の考え方

栽培漁業の役割分担については、種苗の生産技術開発と量産技術開発を県が実施し、放流技術開発、事業化の検討と実証(資源評価、放流数量、受益範囲、生産・放流体制の整備、経済効果等の検討)を、県と漁業者(放流実

施主体)が連携して実施することとします。さらに、事業実施段階に達した種類については、漁業者が持続的な栽培漁業を推進していくこととします。

・放流魚種選定の基本的考え方

放流すべき種類の決定にあたっては、放流によって資源の増大や漁獲の安定化を図るための条件として、放流後の生残率がよく、成長がよいこと、回収率や単価が高いこと、また、種苗生産や種苗の調達にかかる経費が出来るだけ低いことなどを基本的な原則として考慮することとします。

・高水温による資源への影響や放流の注意点

本県沿岸での水温については、屋島湾口の水深1mの地点の水温が過去30年で、約1程度上昇しており、香川県備讃瀬戸海域の浅海定線調査結果から水深10mの水温が過去36年で約0.8程度上昇しているという研究結果もあります。これは、地球温暖化などの要因が考えられますが、年によっては、高水温に弱い魚のへい死や資源の縮小が考えられるため、その年の水温の状況を勘案して、放流する魚種や放流時期を検討することとします。

・放流魚の遺伝的多様性の確保

放流計画の策定、種苗の生産、放流等にあたっては、放流魚が天然魚の遺伝的多様性に与える影響について配慮するよう努めることとし、放流用種苗の遺伝的多様性の確保等に必要となる措置については、県と国、水研センターと連携して、種苗生産機関に対して、適切に指導を行うこととします。また、関係機関は協力して情報収集、技術開発等に努めるとともに、その成果の普及に努めることとします。

・栽培漁業の技術開発における調査研究範囲

卵から親魚に至る間の生態及び生息環境、資源量とその変動要因、系群構造等を把握するための調査研究を層推進し、栽培漁業を計画的に推進する上で必要な基礎的知見を集積するよう努めることとする。その上で、科学

的知見の下に効果が得られると判断した対象種の種苗生産に係る技術の開発を行うこととします。

・種苗生産技術開発の連携した取組の推進

効率的な種苗生産、放流等を行うため、県は水研センター・関係県と連携して、技術開発の進展段階ごとに技術を体系的に取りまとめるよう努め、関係機関と比較して現状の技術水準を明らかにするよう努めるとともに、今後の技術開発課題の重点化および確立された技術の他の水産動物への応用に資することとします。

香川県農政水産部水産課 漁業振興グループ 宮川

今回の視察研修に参加した職員が属する漁協とは、規模、組織、形態等で異なりはありますが、今回の研修で学んだことを参考に、今後の組合運営に役立てて頂きたいと思います。



くろべ漁協での研修

県下漁協職員がくろべ漁協を先進地研修

組織強化推進室では香川県漁協職員協議会との共催で、去る9月8日、9日に富山県のくろべ漁協を漁協職員・事務局の総勢15名で視察研修しました。

くろべ漁協は平成10年4月に組織・経営基盤の強化を図る目的に隣の漁協と合併した漁協で、平成16年度の漁協の概況は、正組合員111名、職員数16名、パート数26名、販売事業取扱高430百万円、購買事業取扱高55百万円、直販事業174百万円で、地区の主な漁業のかにかご(べにずわいがに)、刺網(ひらめ)、定置網漁業に係わる取扱が事業の中心となっています。

特筆される事として、昨年10月にオープンした「魚の駅・生地(いくじ)」が挙げられます。この施設は、販売取扱高の落ち込みを背景に、販売事業の活性化を図る目的として総事業費2.6億円(全額補助事業)をかけて建築されたもので、組合員が獲ったばかりの魚介類や水産加工品を販売する「とれたて館」と刺身や揚げ物に加え、塩干品を自ら焼いて食べることでできる「できたて館」とからなり、漁協組合長が黒部観光協会副会長及びくろべ町づくり協議会副会長を務め、黒部市の観光PR・地元経済の活性化に「魚の駅・生地」を介していることも好影響し、開店以来売上は好調で、組合の新しい事業部門(直販事業)として期待されています。

また、漁協婦人部では地元魚の一夜干しを「生地の塩物」としてブランド化を図り、インターネット販売しており、こちらも好評を得ている様です。

「牡蠣の燻製」農林水産大臣賞を受賞

鴨庄漁協女性部の「牡蠣の燻製」が、第6回シーフード料理コンクール水産加工品部門において、農林水産大臣賞を受賞し、10月23日、東京で受賞式があった。

同漁協女性部は、地区の冬の風物詩で海のミルクといわれるほどカルシウム等の豊富な養殖カキを活かして、「牡蠣の燻製」を開発した。

カキは通常「酢ガキ」か「フライ」で食されるが、燻製に新境地を見出そうとしたもので、試行錯誤を繰り返しながら平成17年3月に商品化にこぎつけた。すでに、今年の製造は開始しており、11月の「県魚フェア」など県内外で販売していく予定である。

1年を通じての商品供給と、いかに味覚を維持するかという課題はあるものの、受賞を機に販売を促進し、ひいては漁協女性部活動の活性化に結び付けたいとしている。

県名	製造者・団体	品名
香川県	鴨庄漁業協同組合女性部	牡蠣の燻製
宮城県	大谷本吉漁業協同組合 大谷女性部おばちゃん倶楽部	浜福神漬
兵庫県	兵庫県漁業協同組合連合会	明石だこのやわらか煮
島根県	恵曇漁業協同組合女性部	タタキカレイの佃煮

佐賀県	東与賀町漁業協同組合 女性部	東与賀産 佐賀 海苔の佃煮
大分県	美濃崎水産加工グルー プ	浜揚げちりめ ん
宮崎県	日南市漁業協同組合女 性部 加工グループ	かつおしょう ゆ節



左から全漁連宮原専務、佐藤幸恵部長と服部審査員長

フグ、トラフグもそれぞれ約8ト、約2ト獲れる日があり、こんなにも獲れるものなのかと驚きました。これは深夜の仕事であったので、睡眠が十分に取れず、体力的に厳しい時もありました。しかし、事務所に戻れば、私の何倍も仕事をしている先輩方を見て自分はまだまだで、もっと頑張らなければならないと思いました。

八月になると、一ヶ月間、引田加工場でお世話になりました。現場でのカンパチ、ブリのメ作業、加工場におけるフィレ作業、どれをとっても初めての経験で、何も分からない私でしたが、加工場の人達が優しく、時には厳しく指導してくれたおかげで少しずつできるようになりました。特にメ作業では、初めは魚を抑えることもままならない私でしたが、一ヶ月の間に他の人よりは遅いペースですが正確に魚をメることができるようになりました。また、小割での網の扱い方や、魚の扱い方なども指導してもらいました。これらの作業は今後も必要となるので、ここでの一ヶ月間はとてもいい経験になりました。

九月になり、本格的に餌関係の仕事に就くようになりました。私自身今はまだ餌を売ることはなく、日々色々な組合に顔をださせてもらい、トラックで運ばれてくる生餌を降ろすのを手伝わせてもらっています。はじめは手鉤を使うのに慣れていなく、作業の邪魔にしかなくなってしまったのですが、組合の人達や運転手の方が、優しく使い方を教えてくれ、また私のペースに合わしてくれたおかげで、今では最初に比べて少しは使えるようになってきました。早く組合の方や漁師の方、また餌に携わる業者の方に信頼される人間になり、少しずつでも営業の仕事を覚え、上司の方をサポートしていけたらと思っています。

まだまだ未熟な私ですが、香川県漁連の一員としての責任感を持ち、たくさんの経験を積んで、どんなことでも自信を持ってこなせるように頑張っていきたいと思いますので、皆様のご指導の程よろしくお願いします。

新人職員奮闘記

「販売事業部 餌料課にて」 浅野 太一

本年度より、販売事業部餌料課でお世話になっている浅野太一です。以後よろしくお願ひします。

私が香川県漁連に入会してはや半年が過ぎ、入会したのがついこの間のように感じます。四月から現在に至るまで餌料課の仕事に限らず、色々な仕事を経験させていただきました。

まず、私が始めにした仕事は西詫間と仁尾でとれたサヨリの受取りでした。そこでは、サヨリを箱にたてて、上司の指示どおりに荷割をするという簡単な仕事でしたが、何もかもが初めての私にとってよい勉強になりました。今年は海水温が低いせいもあり、四月の上旬は例年より漁獲量が少なく、漁師の方を悩ませていました。下旬からは量もサイズも順調に上向きましたが、今度は相場が下がり、小さいサイズでは運賃もでない状況になりました。漁師の方の苦勞を実際に身近で感じ、魚を出してくれる漁師の方のために、少しでも相場の良い売り先を見つけることで、貢献しなければと思いました。

この仕事と平行して、瀬戸内地区で行われる込網漁で獲れるナシフグ、トラフグ、シリヤケイカを受取りをしました。今年はシリヤケイカの水揚量が特に多く一日に約20ト獲れる日もありました。ナシ

主な行事予定(11/1~11/30)

- 11月5日~6日 県魚フェア
- 7日(月) 理事会
- 19日(土) JF 全国漁協代表者集会
- 20日(日) 第25回全国豊かな海づくり大会 かながわ大会

全国運動「生き生きマリン21」

浜っぱいの笑顔キャンペーン

応援します。豊かで楽しい浜の暮らし

くじ付定期貯金

- 対象** スーパー定期1年もの(新規)1口10万円
- 抽選券** 1口につき1枚の抽選券発行
- 抽選日** 平成18年3月下旬予定

**当選本数
1,050本**

募集期間 12月 平成17年 1日 ~ 平成18年3月 15日



**抽選で
はまちファイル
が当たる!!** (1.5kg程度)
発泡スチロールに氷づめの状態でお届けいたします。

口数に限りがありますので
お早めどうぞ。

JF Marine Bank
マリンバンク
JF香川信漁連 漁業協同組合・香川県信漁連

※商品の発送時期は平成18年4月上旬を予定しています。商品の発送は県内を限定と致します。
※抽選日前の解約については、抽選の権利が失効いたします。

マリンバンクの住宅ローン



さらに**進化**しました!!

○固定&変動型金利の導入

○全国保証㈱の利用で保証人不要

金利優遇キャンペーン実施中

期間/平成17年8月10日~平成18年3月31日まで

優遇条件に応じて最大 **0.4% 優遇**

期間限定

金利固定期間3年の場合
キャンペーン
期間中通常金利 年 1.375%

最優遇金利適用時

年 **0.975%**

金利固定期間5年の場合
キャンペーン
期間中通常金利 年 2.375%

最優遇金利適用時

年 **1.975%**



詳しくは漁協・信漁連各窓口にお尋ね下さい

お取扱い **マリンバンク**
香川信漁連各店舗